学生部会から

ANGLE 関西主催 『あいまい研修合宿』を終えて

ANGLE 関西支部長 仲田 明紀*

はじめに

ANGLE の活動も、ファジィブーム以降は個別・地域化している今日この頃ですが、ANGLE 関西支部にて、1996 年 3 月 15 日・16 日に大阪工業大学 60 周年記念会館宿泊施設にて行われた『あいまい研修合宿』について報告いたします。

当日の天候は、昼間は久しぶりの強い雨となり、遠くから来られる方には申し訳ない天気となってしまいました。しかし、企画当初の予想を越える参加者数を数え(といっても、身内が多いのですが…)、にぎやかに開催できました。

参加者は以下のとおりです。

福山大学	榎本 洋士・西浜 孝晃・野々村 健次・永井 義貴(古殿研)
広島市立大学	生駒 哲一
大阪工業大学	小西 幹彦(奥田研)・向日 恒喜(宇井研)・水沼 洋人(和多田研)
京都大学	藤野 昭典(片井研)
大阪電気通信大学	仲田 明紀(水本研)

プログラムおよび発表風景

発表は宿泊施設内の畳部屋で行いました。OHP は大工大研究室から持込み、襖にシートを付けて映しました。発表は自由な時間、自由なスタイルでということになっておりました。あまりにも長くなってしまった発表もあり、もう少し考えるべきでした。しかし、多くの意見交換ができたと思います。

* Akinori NAKATA
大阪電気通信大学 水本研究室

以下に、発表題目と概要を示します。

・合成型ファジィ推論の解析とその回路設計

仲田 明紀(大阪電気通信大学)

ファジィ制御に対するファジィ推論の規則数を低減する手法である、おおまかな推論と部分的な推論の合成型ファジィ推論法について、及び GA による規則生成について発表されました。

・ファジィ区間データ解析の応用

小西 幹彦(大阪工業大学)

これまでに、ファジィ区間データの解析に関する研究がなされてきており、そのファジィ区間の中心値を代表値として、この値を用いて既存の統計的手法を用いるための方法が提案されている。しかし、これらの有用性を示している例はコンピュータシミュレーションによるものなので、実際問題への適用場面の模索に関して発表されていました。

・ファジィ音楽についての研究

～ジャマイカンミュージックを中心として～

榎本 洋士(福山大学)

音楽、とくに『レゲエ』のジャンル＝ファジィ?

参加者一同

について発表されました。レゲエの中心思想であるラスタファリズムについて、レゲエの神様ボブ・マーリーについて、最近のレゲエについてなど多彩な発表をされました。

・ファジィ・ポートフォリオ・セレクション

－意思決定者の希求水準の実現

水沼 洋人(大阪工業大学)

ポートフォリオ・セレクション(portfolio selection)は証券への分散投資手法の原点であるのですが、意思決定者の目標期待収益率および目標リスクをファジィ集合で表すことにより、意思決定者の希求水準の満足化を考慮したファジィ・ポートフォリオ・セレクションについて研究発表をされました。

・対人認知のコンピュータ認知への応用の試み

向日 恒喜(大阪工業大学)

『より好かれるコンピュータ』という視点から、人間のパートナーとしてコンピュータをとらえ、人間対人間との関係について論じている対人認知における理論を人間対コンピュータとの関係に応用し、人間とコンピュータとの関係を明らかにすることについて発表されました。

・ファジィの研究に未来はあるか?

～ファジィ推論、再考～

生駒 哲一(広島市立大学)

ファジィの現在までの主な応用として、ファジィ推論による制御が行われてきましたが、ファジィ本来の『不確定性』、『あいまいさ』というものが本当に活かされているのか?について、ファジィ推論を再検討してみるという観点からこれまでの問題点を指摘しました。ファジィ推論と統計モデルの比較、人間の認知、行動モデルとファジィ推論の位置付けなどを中心に、ニューラルネットワークや遺伝的アルゴリズムについても触れながら発表されました。

最初は固い雰囲気でしたが、時間が経つにつれ、お酒が入るにつれ、話も弾んできました。

発表風景

各発表においてはリラックスした雰囲気(?)の中、自分の主張したいことを存分に言えたのではないかと思います。また、多彩な顔ぶれであったことから、参加者それぞれの新たな発見もあったことと思います。

また、発表会の合間に大浴場にて入浴、夕食であるオードブルや懇親会のつまみなどの買い出し、そして懇親会を兼ねた(全体が発表会を兼ねた懇親会とも言えるが…)夕食などを行いました。懇親会(夕食会)では参加者個々の趣味やローカルな話題なども飛び出し、盛り上がりました。

おわりに

眠たくなったら自由に寝るということになっていたのですが、最後まで話をしていた方々は5時ぐらいまで続いていたようです。このように、にぎやかに楽しい、いかにも ANGLE らしい研究発表会を行えました。この企画が ANGLE の今後の活動にも役立てば幸いに思います。

最後になりましたが、企画当初からご協力頂きました ANGLE 関西運営委員の方々、ならびに発表、参加頂きました皆様に厚くお礼申し上げます。

[問い合わせ先]

〒572 寝屋川市初町 18-8

大阪電気通信大学 水本研究室

仲田 明紀

TEL: 0720-20-4569

FAX: 0720-24-0014(大学事務局)

E-mail: nakata@mzlab.osakac.ac.jp